

学校だより

芦花 Junior High school



NO. 1

令和8年 4月 25日

世田谷区立芦花中学校

校長 風間 浩也

## 「1万時間の法則」から見えること

校長 風間 浩也

芦花中の周囲の木々や草花は、いつも四季の移り変わりを教えてくれます。桜が終わるとケヤキ並木が生き生きと葉を茂らせ、その後はツツジが鮮やかに生け垣、遊歩道を彩ります。私は、今の3年生の入学と共に芦花中学校に着任し、3回目の春を迎え、季節と共に「時間」の流れの速さを感じているところです。

校長として、この2年間、芦花中で過ごす1人1人の子ども達が、安全・安心な環境の下、充実した時間を過ごせているだろうかと常に考えている日々です。中学校での3年間を「時間」に換算して見てみると、1日約8時間を学校で過ごし、年間200日登校したとして、3年間で4800時間あまりを学校で過ごすことになります。近年、「1万時間の法則」という言葉が広く知られるようになりましたが、これは、「ある分野で高い水準に到達するためには、およそ1万時間の積み重ねが必要である」という考え方です。マルコム・グラッドウェルという人が、著書『アウトライアーズ』の中で紹介したものです。ということは、もし、芦花中で過ごす全ての時間が、充実したものとして本当に積み重なっていくのなら、一流レベルの「高い水準」に達するまでの半分の高さまで、中学校にいただけで積み上げることができるということになります。（ちなみに、アウト라이어 [outlier] とは、「突出した異端」を指す言葉のことなので、この考え方が著者の主張と完全に合致する考え方ではないかも知れませんが…。）

翻って、日本の学校教育における「学びの時間＝授業時間」を見てみますと、学習指導要領に基づく「標準授業時数」は、小学校から中学校までの9年間で約8,700時間（中学校は、1年で1015時間×3＝3045時間）、高等学校まで含めると約11,000時間に及びます。子どもたちは、人生の大切な時期に、これだけの時間を学校で過ごしていることになります。高校卒業までの12年間の学校の授業だけで「1万時間の法則」が達成されることとなりますが、しかしながら、この「法則」における時間の価値は、単なる「量」として測られるものではなく、どのように深く追求し、高いレベルで研鑽するかという「質」が問われるとも言われています。学校で過ごす時間で、どのように学び、どのように自らの資質・能力を高めるかによって、その意味は大きく変わります。授業において自分を高め、常に成長に繋がるような取組ができるような仕掛けや工夫を教師が提示し、子ども達も課題に粘り強く向き合うこと、自分の考えを表現すること、他者の意見に耳を傾けること—そうした1つ1つの経験が、学びを確かな力へと高めていくのだと思います。本校における教育活動で、1人1人にそのような時間が展開されていくことが、校長としての願いです。

さらに、学校での時間は、教科の学習だけにとどまりません。日々の生活の中で、友人や教師、地域の方々と関わりながら過ごす時間そのものが、子どもたちの成長を支えています。多様な人間が過ごしている「学校」という空間で、思い通りにいかない経験に直面した時に踏ん張る力、他者を思いやる心、協働して物事を成し遂げる力といった、いわゆる「非認知能力」は、このような多様な関わりの中で育まれていくものです。また、現代は学びの在り方が大きく広がっている時代でもあります。オンラインでの学習や机の前だけでなくフィールドで行う探究的な活動、地域との連携など、学校の内外を問わず、学校に登校していなかったとしても、多様な学びの機会が存在しています。だからこそ、学校は「学びの基盤」として、子どもたちが安心して挑戦し、失敗から学び、他者とともに成長できる場であり続けることが求められています。約1万時間にも及ぶ学校での時間。その1時間1時間が、知識や技能の習得にとどまらず、人としての在り方を形づく大切な積み重ねです。本校では、これからも子どもたち1人1人の学びと成長を支え、その可能性を最大限に引き出してまいります。ご家庭や地域の皆様とともに、貴重な中学校時代を充実した時間の積み重ねの場とすることで、子どもたちの豊かな未来を育んでいければ幸いです。

追伸として；先だっの学校だよりで、芦花小中の両校の校歌に「富士」が登場するが、今は屋上からも見えないという話を掲載したところ、早速、地域の方々から、「昔は富士山なんか、当たり前のように見えたんだよ」と教えていただきました。それ以降、マンションに囲まれた今の姿ではなく、広々とした畑が残っている在りし日の芦花の地域を目に浮かべ、景色を想像しながら校歌を歌っています。

## 新入生 誓いの言葉



暖かい日差しに包まれ、桜が咲き誇る季節となりました。今日、私たちは、この世田谷区立芦花中学校の門をくぐりました。

本日は、このような盛大な式を挙げていただき、誠にありがとうございます。新入生を代表して、お礼申し上げます。

私は、これから始まる中学校生活に期待と不安を胸に抱きながら、今日この日を迎えました。これまでと同じ通学路を歩いてきましたが、制服に身を包んだ今、中学生になったんだと実感しています。

私は中学校生活で頑張りたいことが二つあります。一つ目は勉強です。中学校では、一人の先生に習うのではなく、科目ごとに先生が分かれ、小学校ではなかった定期テストも行われます。そのような環境の変化に、不安でいっぱいですが、日々の授業をしっかりと聞き、分からなかった問題があった時にはきちんと先生に

質問をして、定期テストでは自信を持って取り組めるようにしたいと思います。

勉強内容が難しくなることや、これまでなかった定期テストもあり、環境が変わることに不安もあります。日々の授業をしっかりと聴いて、苦手な教科も予習復習を行い、テスト前に焦ることがないように取り組みたいと思います。

二つ目は、学校行事です。中学校では毎年、体育祭や学芸発表会などの行事があると聞いています。体育祭では、仲間と力を合わせ、競技に全力で取り組み、協力することの大切さを学びたいです。また、学芸発表会ではダンスや書道、作品展示などにおいて、自分の持っている力を精一杯発揮し、やり遂げることの達成感を味わいたいです。中学校生活は三年間しかありません。だからこそ、どの行事にも全力で真剣に向き合い、中学校生活の大切な思い出を築いていきたいと思っています。

私は「努力は必ず報われる」という言葉を大切にしています。中学校生活では、勉強や部活動、学校行事など、思うように行かないことや壁にぶつかることもあると思います。しかし、そのような時こそ諦めずに、努力を続けることが大切だと考えています。すぐには結果が出なくても、日々の積み重ねが自分の力となり、やがて自信へと繋がっていくと信じています。どんなことにも前向きに取り組み、挑戦し続けて、悔いのない中学校生活にしていきたいです。

ご来賓のみなさま、保護者のみなさま、本日は、私たちの入学式にご臨席いただき、誠にありがとうございます。多くの方々に見守られながらこの日を迎えられたことに感謝し、一日一日を大切に過ごしていきたいと思っています。これからの学校生活において、先輩方の姿から多くのことを学び、先生方のご指導のもとで成長していきます。様々な場面でお世話になることがあると思いますが、温かく見守っていただけますよう、よろしくお願い致します。

私たち新一年生は、仲間とともに成長していき、充実した三年間を過ごしていくことをここに誓います。

令和八年四月七日 新入生代表



## 歓迎の言葉

やわらかな日差しが降り注ぎ、色とりどりの花々が咲き誇る季節となりました。このよき日に、この芦花中学校に入学する、新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。みなさんを迎えることができ、私たち二、三年生はとても嬉しく思っています。

少し前まで、小学校で過ごしていたみなさんは、今日から芦花中学校の一員となります。みなさんには新しい環境や、沢山の出会いが待っています。

みなさんの中には、これから始まる中学校生活に、大きな期待を寄せている人もいれば、反対に、不安や戸惑いを感じている人もいます。二年前の私も、みなさんと同じように、「楽しく学校生活を送れるのか」、「上手に人間関係を築くことはできるのか」と、これからの中学校生活に不安を抱いていました。しかし、先生方や先輩方が温かく迎え入れてくださり、沢山助けてもらったおかげで、安心して学校に通えるようになりました。

芦花中学校では、「体育祭」と「学芸発表会」という二大行事が行われます。

体育祭は、クラスメイトとの絆を深めることができる、絶好のチャンスです。みんなで必死に大縄の練習をして、跳べた回数が増えたときには、クラス全員で喜び合う、そんな達成感に満ちた日々を送ることができます。

学芸発表会は、仲間と協力して共に作り上げることの面白さや、様々な作品を通して自分にはなかった新しい視点を見つけることができます。それらの思い出は、きっとみなさんの宝物になるでしょう。

これからは始まる中学校生活では、けっして楽しいことだけではなく、辛いことや悩むこともあると思います。そんなときには、一人で抱え込まずに周りの人に相談してください。みなさんの周りには、共に時間を過ごし、支え合う仲間がいます。背中を見せて導いてくれる先輩がいます。私たちが自立に向かうために教え導いてくれる先生方がいます。もちろん、温かく見守ってくれる保護者の方、地域の方々もいます。私たちは、そんな人たちと共に中学校生活を送ることができるのです。

在校生一同、これからみなさんと過ごせるのを楽しみにしています。みなさんが笑顔で、自分らしく輝く毎日を送ることができるよう、応援しています。

令和八年 四月七日 在校生代表



## 4月の行事 ～ 希望あふれる、新しい季節の始まり ～

### 【第68回入学式】

令和8年4月7日(火)、第68回入学式が行われました。北門、南門の桜の花々も、新入生の入学を待っていたかのように、美しく咲き誇り、式を彩りました。担任の先生から名前を呼ばれたときの、「はい!」という元気な返事に、これからの学校生活への期待と決意が込められていました。今のフレッシュな気持ちを大切にしながら、新たな仲間や先輩たちとともに、この芦花中学校でたくさんのことを経験しながら、大きく成長してほしいと思います。

3年後の卒業式に、「芦花中に通えて良かった」と思えるように、教職員一同、全力でみなさんをサポートしていきます。保護者、地域の皆様、新入生を温かく見守っていただければ幸いです。御理解、御協力のほど、よろしくお願いいたします。



### 【あいさつキャンペーン】

4月13日(月)～17日(金)に、地域の方々、芦花小学校と連携して、「あいさつキャンペーン」が実施されました。中学校からは、ボランティアとしてたくさん生徒が、正門や小学校門、ピロティ、南門などに分かれて、元気にあいさつをしていました。地域の方から「芦花小、中学校の児童・生徒が気持ちよくあいさつをしてくれて、とてもすがすがしいです。」とお声をいただきました。

烏山地区の、あの大人気キャラクター「からびよん」も登場し、キャンペーンを盛り上げてくれていました。春のやわらかな日差しの中、地域の方々や芦花小学校の児童のみなさんと、さわやかな挨拶で1日がスタートしました。

### 【新入生歓迎会・部活動紹介】

4月13日(月)新入生歓迎会・部活動紹介が行われました。各部活動の2、3年生が、新入生に向けて、活動内容や活動曜日などを紹介しました。各部にとっては新入部員獲得の大チャンス!日頃の活動を、実際の練習を再現したり、編集した動画を見せたりしながら紹介するとともに、「新入生のみなさんの入部を心よりお待ちしております!」と熱い勧誘のメッセージを送っていました。仮入部期間も始まっています。3年間、続けられる部活動をじっくりと選んでほしいです。



### 令和7年度の工事報告と令和8年度の工事予定

昨年度は以下の工事を行いました。御協力ありがとうございました。

- ・体育館、格技室、テニスコートの電灯のLED化
- ・体育館遮熱対策

今年度、以下の工事を行います。引き続き、御理解御協力をお願いいたします。

- ・体育館棟1Fに給食室を新設(R8.9月完成予定) ・体育館2Fに和室を新設(R8.9月完成予定)
- ・体育館エアコン増強(R8.秋頃完成予定)

### 5月の行事予定

7日(木) 歯科検診	20日(水) 避難訓練
8日(金) 体力テスト	21日(木) 修学旅行(始)3年生
11日(月) 全校朝礼	23日(土) 修学旅行(終)3年生
12日(火) 心臓検診1次	25日(月) 3年振替休日
13日(水) 職員会議	教育実習(始)
18日(月) 単元テスト	26日(火) 腎臓検診予備日
生徒総会	
腎臓検診2次	